

編集後記

“ミニバラ” No.10 をお送りします。今号は、2 頁目には渡部牧子姉の信仰の証し「豊かな恵みの中で」を、3 頁目には武田豊子姉の紀行文「平戸を訪ねて」を載せることができました。いずれの文の中にも、私たちが感じるのは、先人たちの熱い祈りと、深い神の計らいです。讚美歌 536 番の 2 節の歌詞、「あさきこころもて／ことをはからず、みむねのまにまに／ひたすらはげめ。かぜに折られしと／見えし若木の、おもわぬ木陰に／ひともや宿さん」、を思い出しました。御多忙の中、大城恭介兄には研修会報告を纏めて頂き、山本まゆ子姉には今回も編集の労をとって頂き、感謝の外ありません。(三輪)